



はるにれ

海老名市立有馬小学校 学校だより

令和5年1月25日号

発行者 遠藤 一義 (校長)

☆令和4年度 学校教育目標☆
夢をもって未来を切り拓く
調和のとれた子どもを育てる

よく考えすすんで学ぶ有馬の子
健康でたくましい有馬の子
心豊かで思いやりのある有馬の子

「2023年(令和5年)が始まりました」

カレンダーの関係で例年よりも長い冬休みでしたが、皆さまはいかがお過ごしになられましたでしょうか。行動制限のない年末年始ということで、「田舎のおじいちゃんやおばあちゃんに久しぶりに会いに行きます」というニュースの映像を見るたびに、今年でコロナが完全に収束することはないまでも、様々なことが落ち着く方向に向かうことを願わずにはられません。学校教育活動も、ここまでは今年度予定していたものを実施することができていますが、内容を縮小したものや、まだ実施のめどが立たないものもあるのが実情です。



今年の干支は「うさぎ(卯)」です。ぴょんぴょん跳ねるうさぎから、うさぎ年の1年は「飛躍や希望の年」と言われています。また十干十二支(じっかんじゅうにし)で見ると「癸卯(みずのとう)」と言われ、「生命が一巡し次の新しい巡りへと移りゆく年」と言われるそうです。そういう昔からの言い伝えにならって、今年1年が皆様にとって「希望にあふれた新しい巡りが飛躍する1年」になることをお祈り申し上げます。今年も1年間よろしく願いいたします。

「スラムダンク」

私の冬休みのイベントの一つが、映画「THE FIRST SLUM DUNK」鑑賞でした。1~31巻のコミックを自宅本棚に全部そろえ、中学でバスケット顧問をしていたころ、大会前には必ず全巻を読み直してから試合に臨むくらい崇拝していたコミックが映画化されるということで、非常に楽しみにしていました。これから見ようと思っていられる方にネタバレになってはいけませんので、映画の内容はここで特に触れません。ここでは、市内中学校バスケットボール部顧問として指



導していた時に自分で大切にしていたことを少し書かせていただきたいと思います。

①入部してきた生徒は、最後まで続けさせる → 他にやりたいことができた等で退部した生徒はもちろんいます。しかし、バスケットが好きという生徒は最後まで活動できる環境作り・関係づくりを第一に取り組みました。退部者0人ではありませんが、退部率はかなり低い部活になっていたと思います。

②技術向上も大切だが、日常生活をそれ以上に大切にさせる。 → バスケットボールで将来お金を稼ぐ可能性は非常に低いです。バスケットボールを通じて「大人になる勉強」をさせたいと思っていました。

「一緒に入部した仲間は、最後まで一緒にバスケットボールというスポーツで助け合い、励まし合い、切磋琢磨する集団になって欲しい」「一人の人間として成長して欲しい」

まだ若いころの私は、スラムダンクから大きな影響を受けていたのは間違いありません。

「教育活動についての調査」

今年度もアンケート用紙ご提出、ありがとうございました。皆さまからいただきました貴重なご意見は、次年度の教育活動につなげるようにいたします。(集計結果と成果と課題につきましては、別途配布済みです。)

★2月の主な行事予定★(1/25時点)

1日(水)	クラブ活動⑦
3日(金)	学年発表会(1.6年)
6日(月)	授業参観・懇談会(ひまわり級)
10日(金)	授業参観・懇談会(1~3年) 中学校体験入学(6年)
13日(月)	授業参観・懇談会(4~6年)
22日(水)	小中連携授業参観

●電話対応時間について●

- *通常の学校授業日: 8時00分~17時30分
- *長期休業中: 8時30分~17時00分
- *土曜・日曜・祝日: 終日留守番電話対応
- *その他、教職員研修日等、変則的になることがあります。ご理解とご協力いただきますようお願いいたします。